

製品情報シート

SJ19-191227-001

作成日:2019 年 12 月 27 日

改定日:2020 年 1 月 9 日

1 製品及び会社情報

製品名	水系アルカリ洗浄剤 MS-1A
製品コード	2-1201- 11 、-12
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀 2-1-27
担当部門	品質保証部
電話番号	06-6447-8614
FAX番号	06-6447-8664

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
金属腐食性物質	: 区分外
その他の危険性	: 分類対象外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
目に対する重篤な損傷	: 区分2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類対象外
生殖毒性	: 分類対象外
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水性環境性有害性	: 区分外
水性環境慢性有害性	: 区分外
オゾン層有害性	: 分類できない

GHSラベル表示

絵表示またはシンボル :



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 皮膚刺激 強い眼刺激

注意書

- ＜安全対策＞ : 環境への放出は避けること
取り扱い後は良く手などを洗うこと
- ＜緊急対応策＞
- 目に入った場合 : 目に入った場合は流水で少なくとも15分以上洗眼する。
コンタクトレンズははずし、洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、
瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合
は直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をゆすぎ大量の水を飲んで薄める。吐き出してはならない。
異常が残る場合はすぐに医師の診断を受ける
- 皮膚に付いた場合 : 皮膚に対し軽度の刺激が残るので清水を使って洗い流す。刺激が
残る場合は医師の診断を受ける。意識が無い場合はなにも与えては
ならない。
- ＜保管＞ : 液が漏出しないように使用後は必ず密封する。
高温多湿、火気などを避ける。容器を転倒させたり、落下させたり等の乱暴な取
扱いをしない。
- ＜廃棄＞ : 水に溶解し、酸などで中和後廃棄する
廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、
都道府県の許可を得た業者に委託すること。

3組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

主な含有成分及び含有量

＜成分名＞	＜含有量(wt%)＞	＜CAS NO.＞
精製水	バランス	7732-18-5
リン酸カリウム	1以下	7778-77-0
ケイ酸ナトリウム	10以下	6834-92-0
ケイ酸カリウム	10以下	1312-76-1
炭酸Na	3以下	497-19-8
第三リン酸ナトリウム	1以下	10101-89-0
カルボキシルメチルセルロースNa	1以下	9004-32-4

4応急措置

- 目に入った場合 : こすらずに直ちに清浄な流水で少なくとも15分以上洗眼する。
コンタクトレンズははずし、洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで
水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を
受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに多量の水を飲ませ薄める。吐き出してはならない。異常が残る場合は直ち
に医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない、
- 皮膚に付いた場合 : 直ちに付着した部位を多量の水や石鹼を使って洗い流す。刺激が残る場合
は医師の診断を受ける。

5火災時の措置

- 消火方法 : 不燃物質なので特別な設備は必要としない

6 漏出時の措置

多量の場合

: 土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。
その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等に そのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。

少量の場合

: ウェス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

: 換気の良い場所で使用し容器は密封する。
ミストを吸い込まないようにする。
取扱い時は必要に応じて保護具を着用する。

保管

: 液が漏出しないように密封する。
直射日光、高温多湿、火気などを避けて密封して子供の手の届かない所に保管する。容器を転倒させたり、落下させたり等の乱暴な取扱いをしない。
: 凍結の恐れのある場所での保管を避ける。

8 暴露防止措置

管理濃度

: 設定されていない

許容濃度

: 設定されていない

保護具

: 保護眼がね、保護手袋等 保護マスク 保護衣

設備対策

: 必要としない

9 物理及び化学的性質

外観

: 無色透明液体

におい

: 無臭

比重

: 約 1.10 (原液 20℃)

pH

: 約 13 (強アルカリ性)

溶解性

: 水に溶解

引火点

: なし

爆発限界

: なし

可燃性

: 燃焼しない

発火性

: なし

酸化性

: なし

自己反応性/爆発性

: なし

10 安定性及び反応性

安定性

: 通常取り扱い条件においては化学的に安定

避けるべき条件

: 特になし

混融危険物質

: 酸性物質と反応して発熱する

危険有害な分解生成物

: 分解してCO₂を発生する

11 有害性情報

アルカリ剤の濃度から推定

急性毒性: (RTECS)

経口毒性

: マウス LD₅₀ 15400mg/kg
ラット LD₅₀ 20000mg/kg 以上
イヌ LD₅₀ 5000mg/kg

腹腔内注射

: モルモット LD₅₀ 4000mg/kg

皮膚腐食性、刺激性

: 皮膚刺激性あり

目腐食性・刺激性	: 目刺激性あり
その他の毒性	: 実験報告はない

12環境影響情報

残留性／分解性	: 無機塩がほとんどのため分解性はほとんど無し
生体蓄積性	: 成分から推定して蓄積性はないと推定される
生体毒性、魚毒性	: 魚毒性は低いと推定される

13廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
排水処理により発生した廃棄物についても 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14輸送上の注意

国連番号	: 1760
品名	: その他の腐食性物質（無機物、液体、アルカリ性のもの）
国連分類	: 8
国連等級	: III
陸上輸送	: 取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	: 航空法に定めるところに従う。
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

15適用法令

消防法	: 該当せず
労働安全衛生法	: 該当せず
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
PRTR法	: 該当せず

16その他の情報

引用文献

GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト
中央労働災害防止協会 15107 の化学商品 化学工業日報社 原料の製品安全データシート 各原料メーカー
GHS 分類対象物質一覧 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものではありません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。